

## 事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		平成3年7月21日					
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒620-0853 京都府福知山市長田野町1丁目48番地		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社G Sユアサモールディングス 代表取締役社長 小倉 祥司 電話0773-27-2621					
主たる業種	電気機器具用プラスチック製品製造				細分類番号	1   8   3   1	
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則		<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号				
計画期間	令和2年4月から令和5年3月まで						
基本方針	全部門で当工場のISO14001環境マネジメントシステムをもとに、エネルギー消費効率の改善及び節電を図り、温室効果ガス排出量の削減を目指す。						
計画を推進するための体制	工場長を統括責任者とするISO14001推進体制を基に地球温暖化対策の推進管理システムを維持し積極的に活動する。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (29～1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	2,736.4 トン	2,553.2 トン	トン	トン	-6.7 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	2,883.3 トン	2,553.2 トン	トン	トン	-11.5 パーセント	
	実績に対する自己評価 生産物量減少により基準年に対し減少した。						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	増減率
	工場	事業活動に伴う排出の量 (生産売上百万円)	1.29	1.32			2.33 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
	実績に対する自己評価 生産物量減少により生産効率が低下したため悪化した。						
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	備考	
		105.0 パーセント	111.0 パーセント	パーセント	パーセント		
具体的な取組及び措置の内容	(2)年度	工場照明の効率化、コンプレッサーの運用改善により省エネに貢献					
	(3)年度						
	(4)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	近距離者に対し自己の自動車等の使用をバイク又は自転車通勤への切替推進とアイドリングストップ					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	バイク又は自転車通勤は4名程度					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	トン	トン	トン			
	地域産木材の利用によるもの	トン	トン	トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	トン	トン	トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	トン	トン	トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	トン	トン	トン			
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	工場周辺の定期的美化作業及び廃棄物の分別再資源化						
特記事項							

注1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

注4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。

注5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。